

令和 2 年 12 月 22 日
 関 東 運 輸 局

バス・タクシーは引き続き厳しい経営環境に置かれています

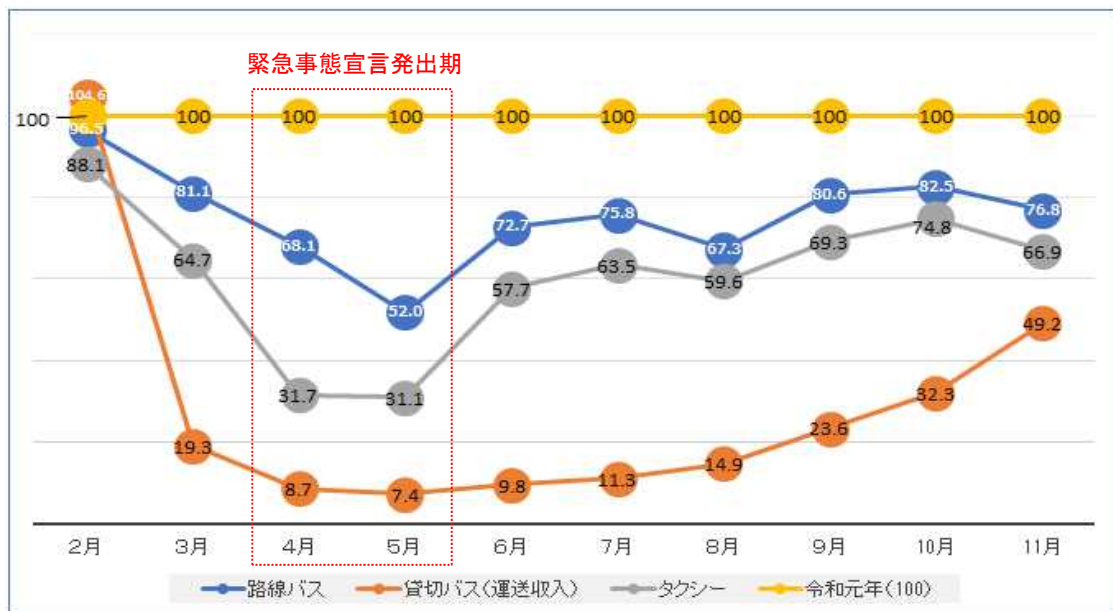
～感染予防対策を講じて、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の兆しをご体感ください～

コロナ禍において厳しさを増すバス・タクシーの経営環境。未だ回復が見通せていません。こうした中、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の兆しが出てきました。過度に恐れず、感染予防対策をしっかり講じたうえで、ぜひお気軽にバス・タクシーをご利用下さい。

1. バス・タクシーが直面する厳しい経営環境

バス・タクシーなどの自動車交通は、通勤・通学・レジャー時の移動手段、高齢者や身体の不自由な方の移動手段、更には、昨今頻発する台風等により鉄道が運休した場合の代替輸送手段として、まさに国民生活や経済活動の根幹を支える大変重要な役割を果たしています。

しかし、折からのモータリゼーションの進展や人口減少等の影響で輸送人員が減少しており、ただでさえその維持が大変でありましたが、更に今回の新型コロナウイルスが追い打ちとなり、現在、バス・タクシーは極めて厳しい経営環境に立たされています。



関東管内のモード別輸送人員(貸切バスは運送収入)の月別推移(令和元年を100としたときの指数比較) ※国土交通省及び関東運輸局調べ

<主な特徴>

- ・ 4～5月を底に回復基調にあるが、直近では一進一退を繰り返し、現状、完全な回復は見通せていない
- ・ 特に貸切バスの減少幅は壊滅的
 (本年11月は、学校行事の再開等により一時的な需要の回復傾向が見られるが、地域差が大きい)

バス・タクシーは、いわゆるエッセンシャルサービスとして、新型コロナウイルス禍においても最低限の業務を継続し、社会の安定維持を支えてきたところですが、厳しい経営環境の中で、事業継続が困難となり、廃業を選択せざるを得ない事業者も既に出始めており、今後、こうした傾向に一層拍車がかかることが懸念されます。

関東管内のバス・タクシー廃止状況：貸切バス 68 件、法人タクシー 15 件
 (令和2年12月15日現在:いずれも同年2月以降分を集計)

2. バス・タクシーにおける感染予防対策

～従来からの対策に加え、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の追求を進めています～

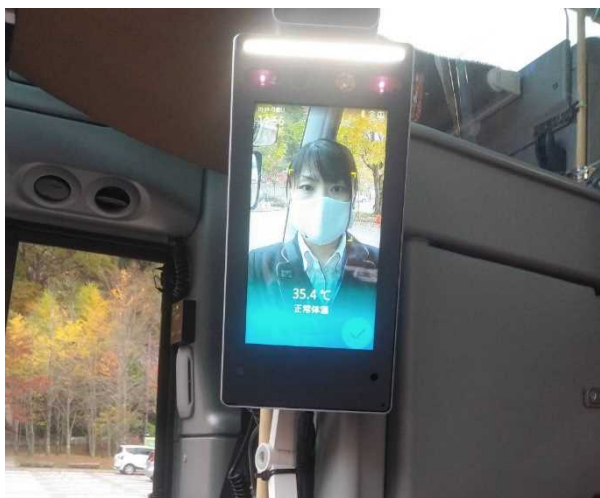
バス・タクシー業界では、それぞれ『新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン』を策定し、乗務員の検温・マスク着用・手指消毒など、基本的な感染予防対策を徹底しています。

また、バス・タクシー車両自体が有する高い換気性能に加え、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の追求を進めています(下記参照)。マスクの着用や会話機会の低減など利用者の皆様からのご協力も得ながら、感染予防の徹底、安全運行に万全を期しております。

《バスの取組事例・車両の換気性能》



高効率空気清浄機の例(路線バス)



AI 搭載サーマルカメラの例(貸切バス)



無光触媒による車内抗菌施工の様子
(路線バス)



車内換気テストの例(貸切バス)

(一社)東京バス協会 HP より

<https://www.tokyobus.or.jp/pdf/karidouga.pdf>

《タクシーの取組事例・車両の換気性能》

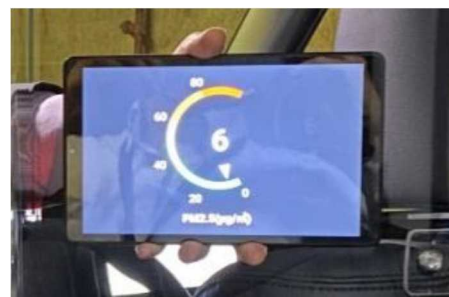
●都内における『ニューノーマルタクシー※』の試験運行開始(令和2年10月～)



ニューノーマルタクシー



高効率空気清浄機の例



空気清浄モニターの例

※ 高効率空気清浄機は超高性能フィルター(N100)を有し、タクシー車内の微粒子を低減。
空気清浄モニターは車内の空気清浄状況をセンサーによりモニタリングし、結果をタブレットに表示。車内空間の「見える化」を実現。

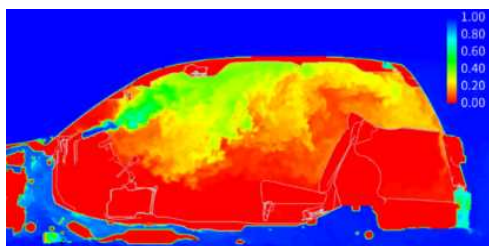
※ こうした移動空間を有する『ニューノーマルタクシー』は、来春メドに本格導入予定。

(参考:東京ハイヤー・タクシー協会 HP <http://www.taxi-tokyo.or.jp/pdf/info20201012.pdf>)

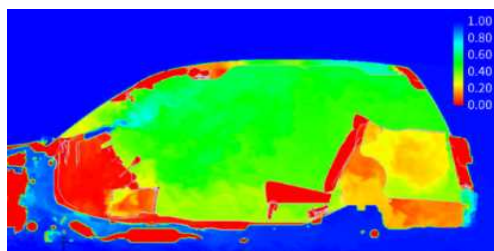
●タクシーの換気性能、飛沫拡散シミュレーション(スーパーコンピューター“富岳”による検証)

<https://www.r-ccs.riken.jp/jp/fugaku/corona/projects/tsubokura.html>

開始直後: 換気前の空気(赤色)が残存



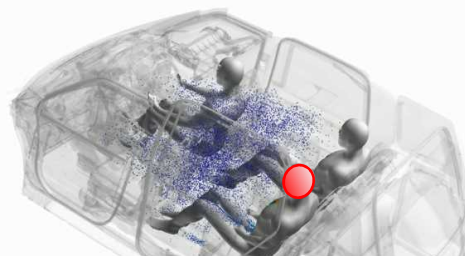
大部分が新鮮な空気(緑色)に入れ換わり



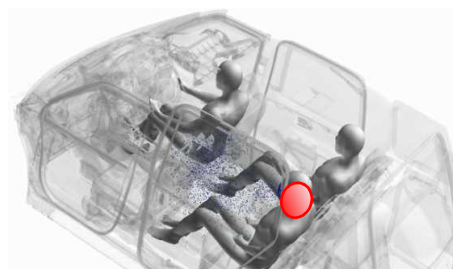
40秒経過後

●赤丸の乗客が咳をする例

マスク無し ⇒ 飛沫が多量に飛散



マスクあり ⇒ 飛沫が抑えられる



- ・ エアコン「外気導入モード」で風量を通常レベル以上とすることで、40秒程度で大部分の空気が入れ替わることを確認
- ・ 窓閉めの状態でも、約1.5分で新鮮な空気に完全に入れ替わることを確認

- ・ マスク着用が飛沫の飛散を抑制する上で非常に効果大きいことを確認

なお、国土交通省では、令和2年度第3次補正予算の成立を前提に、光触媒等による車内抗菌施工や高機能フィルタを用いた空気清浄機など革新的な機器の導入等に要する費用の一部を支援する予定です。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001378258.pdf>

3. 利用者の皆様へ再度のお願い

- バス・タクシーなどの公共交通機関は、“あって当たり前”と思われがちですが、実はそうではありません。お客様にご利用いただくことで初めて成立するものです。
- 公共交通機関が直面する現下の窮状を打破するため、国や地方公共団体等も補助等の支援を実施していますが、厳しい財政事情の中、それには当然ながら限界があります。
- 将来にわたって国民一人ひとりの生き生きとした社会生活を確保するためには、地域の貴重な公共交通機関を社会全体で支えていくことが大変重要です。
- 利用者の皆様には、こういう時期だからこそ、マスクの着用などの必要な感染予防対策を講じたうえで、ぜひお気軽にバス・タクシーをご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

【問い合わせ先】

関東運輸局

自動車交通部長 飯沼

自動車交通部旅客第一課(バス) 勝家、杉田

TEL : 045-211-7245 FAX : 045-201-8802

自動車交通部旅客第二課(タクシー) 中村、小林

TEL : 045-211-7246 FAX : 045-201-8802

【配布先】

横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、関東運輸局記者会「ハイタク等専門紙」、物流専門紙